

1. レジデント研修プログラムの目的と特徴

救急医療はすべての臨床医にとって必要不可欠であり、総合医を目指すものはもちろん、専門医を目指すものでも習得すべきものである。その中にはすべての医師に必要な基本的な部分と、3次救命医療に特化した専門科的な部分とに区別できる。

当センターは各科専門医(脳神経外科, 胸部・心臓血管外科, 一般・消化器外科, 整形外科, 循環器内科, 麻酔・集中治療科)集団による救急医療を特徴としており, 自己完結型の3次救命センターである。したがって救急医療とともに各科専門的な知識の習得も可能である。

本プログラムには、将来救急医療を専門とする医師を目指すレジデントのためのもの(プログラム1:救急専門医コース)と、他科の専門医を目指すレジデントが救急医療の研修をするためのもの(プログラム2:短期救急コース)の2種類がある。

プログラム1(救急専門医コース)では、3年間で救急医学会専門医が取得できるように、取得に必要な認定項目を研修することを目的とする。なお、将来のサブスペシャリティの専門医取得も念頭に置いて、各診療グループのローテーションを行い、広い視野で医学を勉強して救急医を目指す。

本プログラムは、日本救急医学会の「救急科専門医育成プログラム」に登録されており、【3年専従型】大阪府三島救命救急センター救急専門医育成プログラム、【複合型】大阪府三島救命救急センター急性期外科医育成プログラムの2プログラムがある。

プログラム2(短期救急コース)では、救急患者の基本的な診察、検査、治療を上級医とともにを行い、救急患者に対する基本的な初期診療と治療、救急医療の基本的な考え方を学ぶことを目的とする。

2. プログラム指導者と参加施設

- ① プログラム指導責任者: 所長 秋元 寛
- ② プログラム指導者: 日本救急医学会指導医 5名・専門医 9名
- ③ 基幹施設: 大阪府三島救命救急センター
- ④ 協力施設: 大阪医科大学および高槻周辺 2次病院(高槻赤十字病院など)

3. プログラム内容

I. プログラム 1: 救急専門医コース

3年間の研修期間を設定し、研修終了時に日本救急医学会専門医取得を目指すコースである。研修期間中の6ヶ月を1単位として各診療グループ(脳神経外科, 胸部・心臓血管外科, 一般・消化器外科, 整形外科, 循環器内科, 麻酔・集中治療科)をローテート研修する。その間、将来のサブスペシャリティの専門医(外科専門医, 内科認定医など)取得に関して他病院での研修も可能である。

日本救急医学会 救急科専門医育成プログラム

- ・ 0132-01【3年専従型】大阪府三島救命救急センター救急専門医育成プログラム
- ・ 0132-02【複合型】大阪府三島救命救急センター急性期外科医育成プログラム

II. プログラム 2: 短期救急コース

3ヶ月から2年の研修期間を設定し、3ヶ月ごとの期間にわけ、研修期間中に希望する診療グループをローテートする(例えば研修期間6ヶ月であれば3ヶ月×2グループ, 研修期間1年であれば3ヶ月×4グループ)。

① 研修期間

- I. プログラム 1(救急専門医コース): 3年間
- II. プログラム 2(短期救急コース): 3ヶ月~2年

② 研修受入人数

- I. プログラム 1: 年3名まで。卒後3年目~5年目(後期研修1年目~3年目)が望ましい。
- II. プログラム 2: 年3名まで。プログラム 2については卒業年度を問わない。

③ 研修内容と到達目標

日本救急医学会専門医のための必須項目(別紙)を可能な限り研修する。また ACLS, ICLS, JPTEC, JATEC, MCLS などの教育コースを積極的に受講し、インストラクターを目指す。指導医とともに臨床研究を行い、学会での症例発表, 論文発表を行う。

④ 教育スケジュール

- A) 症例カンファレンス: 月~土 9:00 から。レジデントが主催する。
- B) 回診: カンファレンス終了後の 10:00 から(月~土)。
- C) 医局勉強会: 随時, 18:00 から。レジデントが主催する。夏には「夏期集中救急セミナー」を主催する。

- D) 抄読会: 毎週水曜日か木曜日,
 E) 当直: 月 5~6 回行い, うち 1 回は土日当直.
 平日当直: 17:30~翌日 9:00.
 土曜日当直: 12:30~翌日 9:00.
 日曜当直: 9:00~翌日 9:00.
 当直明けは午前中の回診後から帰宅可能.
 F) 特別救急隊(ドクターカー)搭乗:
 高槻市消防本部と連携運用している特別救急隊(ドクターカー)に同乗する。ACLS, ICLS, JPTEC を受講すれば同乗資格を得る。高槻市消防特別救急隊とともに現場へ出場し, 救命処置を行う。月 2 回程度, 9:00~翌朝 9:00。
 G) 週に 1 日, 他病院への出向可能。他病院で臨床研修を行い, サブスペシャリティーを高めることを目的とする。
 H) 有給休暇 20 日/年, 他に月に 2 日自由に休暇を取ることが出来るフレキシブル休暇制度あり。

月	9:00 症例カンファ レンス	10:00 ICU・新患回診	12:00 病棟・ICU 患者ケア	17:30
火	9:00 症例カンファ レンス	10:00 総回診	12:00 病棟・ICU 患者ケア	17:30
水	9:00 症例カンファ レンス	10:00 ICU・新患回診	12:00 病棟・ICU 患者ケア	17:30
木	9:00 症例カンファ レンス	10:00 ICU・新患回診	12:00 病棟・ICU 患者ケア	17:30
金	9:00 症例カンファ レンス	10:00 総回診	12:00 病棟・ICU 患者ケア	17:30
土	9:00 症例カンファ レンス	10:00 新患回診, 患者ケア	12:30	

4. 指導体制

当センターの日本救急医学会指導医(5名)と専門医(9名)を中心に指導する。研修医とともにレジデントが中間位の受け持ち医となり, 医長クラスが指導医となる。全体を診療第1部部長, 副所長, 所長代理, 所長が監督する。基本的にはローテーションしている科の患者を中心に診ることとなるが, 多発外傷や多臓器不全など多彩な患者が搬入されるため, 指導医のサブスペシャリティーによっては

レジデントと指導医の組み合わせが変わる。

5. 評価方法.

チェック項目一覧表(別紙)を用いて自己評価を行い, また, 指導医による評価を受ける. 指導責任者は当該評価に基づき最終評価を行う.

後期研修(3年目レジデント)カルキュラムの1例

		1年目											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外科系 A	体幹外科(消化器外科・胸部外科)												
内科系 B	循環器内科												

		2年目											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外科系 A	麻酔集中治療科	脳外科						循環器内科					
内科系 B	体幹外科	麻酔集中治療科			整形外科			脳外科					

		3年目											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外科系 A	サブスペシャリティー研修(院外)						整形外科						
内科系 B	サブスペシャリティー研修(院外)						循環器内科						

➤ 各種学会専門医制度研修指定施設認定 (2015/4/1 現在)

臨床修練指定病院(外国人医師、歯科医師) 認定番号 厚生省収健政第 31 号
 日本救急医学会指導医指定施設 施設番号 第 045 号
 日本救急医学会救急科専門医指定施設 施設番号 第 132 号
 日本外傷学会外傷専門医研修施設 認定番号 第 100027 号
 日本外科学会外科専門医制度修練施設 認定番号 第 270138 号
 日本脳神経外科専門医認定制度指定訓練施設 認定番号 第 C-1711 号
 日本脳卒中学会研修教育施設 認定番号 第 171 号
 日本整形外科学会認定医制度研修施設 認定番号 大阪府 0122 号
 日本手外科学会研修施設 認定番号 第 10134-01 号
 日本麻酔学会研修施設 認定番号 第 566 号
 日本循環器学会専門医研修施設 施設番号 第 0124 号
 日本集中治療学会専門医研修施設 認定番号 第 358 号